

令和4年度 技術家庭 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・プリント課題を繰り返し行うことで、基礎知識を定着することができた。
- ・基礎的な技能が確実に身に付くように見本となる作品例や段階標本を作製し、生徒にわかりやすく説明することによって、作業がスムーズにいった。
- ・ワークシート提出や振り返りシート提出によって、学習した知識の確認をすることができた。

(2) 課題

- ・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を実践し、生徒の活動を活発にし、賢い消費者を育てたい。
- ・ICT機器を効果的に活用し、安全でわかりやすい授業を展開し、生徒の興味・関心を高めたい。

2 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的、基本的な技術と知識を身に付けるために、プリント、副教材を活用している。安全に制作することができるが、授業展開に時間がかかる。	学んだことを身近な生活につなげ、より良い生活をしようと工夫している。	技術科においては、生活に関した内容より、製作することへの意欲が高い。家庭科においては、食生活について関心意欲が高いが、内容によって差異がある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様々な事象についての知識の習得を目指し、プリント、副教材を活用して学習している。また、技能においては安全に制作することができるが、授業展開に時間がかかる。	課題を見つけ、その解決を目指し、家庭生活をより良くしようと工夫しているが、作品を工夫することに差異がある。	技術科においては、生活に関した内容より、製作することへの意欲が高い。家庭科においては、衣・住生活について関心意欲が高いが、内容によって差異がある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様々な事象についての知識の習得を目指し、プリント、副教材を活用して学習している。技術科は製作することへの意欲が高い。家庭科においては、安全に製作することができる。	課題を見つけ、その解決を目指し、家庭生活をより良くしようと工夫し、作品にも工夫が見られる。	技術科は、製作に関しての意欲が高い。家庭科においては、家族・家庭生活、消費生活・環境について意欲関心が高いが、内容によって差異がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を効果的に活用し、技術・家庭の基本的な機能について理解させる。また、技術科での技術を使う生活、家庭科での食生活について、生活の自立に必要な知識と能率よく実習できる技能の習得を目指す。	技術・家庭分野の見方・考え方を、身近な技術（ものづくり・情報処理）を活用した生活や食生活にいかし、よりよい生活にしようとする思考力を育成する。	日常生活の中の家庭生活に関心を持ち、主体的に取り組む態度を高める。 ものづくり、情報処理に関心を持ち主体的に取り組む態度を高める。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を効果的に活用し、技術・家庭の基本的な機能について理解させる。また、技術科での技術を使う生活、家庭科での衣・住生活について、生活の自立に必要な知識と能率よく実習できる技能の習得を目指す。	技術・家庭分野の見方・考え方を、身近な技術（ものづくり・情報処理）を活用した生活や衣・住生活にいかし、よりよい生活にしようとする思考力を育成する。	日常生活の中の家庭生活に関心を持ち、主体的に取り組む態度を高める。 ものづくり、情報処理に関心を持ち主体的に取り組む態度を高める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を効果的に活用し、技術・家庭の基本的な機能について理解させる。また、生活の自立に必要な技術を活用しての生活、家庭科での家族・家庭生活、消費生活・環境についての知識と、能率よく実習できる技能の習得を目指す。	技術・家庭分野の見方・考え方を、身近な技術（ものづくり・情報処理）を活用した生活や家族・家庭生活、消費生活・環境にいかし、よりよい生活にしようとする思考力を育成する	これからの生活を展望して、家庭生活に対して、主体的に取り組む態度を高める。 ものづくり、情報処理に関心を持ち主体的に取り組む態度を高める。